

令和3年度子ども会リーダー講習会

昨年度は、コロナ禍のため開催することができませんでしたが、例年2泊3日で行っていた日程を、今年度は日帰り2回に変更を行いました。各地区子ども会育成会から推薦された児童（小学生5・6年生）39名、ジュニア・リーダー14名、シニア・リーダーを含む育成者等23名の合計76名が参加し、ジュニア・リーダーが企画した、危険予知トレーニング（KYT）、ウォークラリー、ダンス練習、レクレーション、思い出づくり等を体験しました。



集合写真（1回目）

講習会の様子を写真等を使いながら模造紙にまとめ発表するのですが、殆どの班が楽しかったことをランキング形式でまとめている様子が嬉しかったことも書かれていましたが「学んだこと」の項目があり、目を引きました。

◎友達と話せるようになった
始めは話すのに緊張したけど、レクをやっていく

令和三年度もコロナ禍の影響で活動規模の縮小や日程変更をせざるをえませんでした。

それでも、一年ぶりのリーダー講習会を実施できたことは、参加された小学生の皆さんにとっても、また、ジュニア・リーダー会の安定的存続のためにも充実した経験を積めたと思っております。

なかでもリーダー講習会の活動発表会で、五班の皆さんの発表に心を打たれました。

講習会の様子を写真等を使いながら模造紙にまとめ発表するのですが、殆どの班が楽しかったことをランキング形式でまとめている様子が嬉しかったことも書かれていましたが「学んだこと」の項目があり、目を引きました。

松本市子ども会育成会だより

33号

発行 松本市子ども会育成会
事務局 松本市子ども育成課

大きな学び

松本市子ども会育成連合会

会長 臼井 和夫

うち楽しくはなせるようになった
協力できるようになった
KYTなどで協力して危ないところを紙にまとめることができた

◎少し堂々と話せるようになった
発表などしていくうちに緊張せずに話せるようになった

リーダー講習会を実施した成果がみとれました。

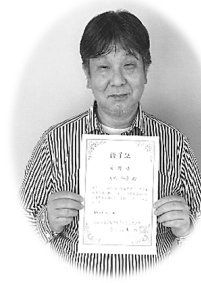
今年のリーダー講習会は宿泊講習会ではなく、日帰り日程のものを二回実施したわけですが、参加された子どもたちは、大きな学びをしてくれました。

その学びには、ジュニア・リーダーの適切な助言があったことであり、ジュニア・リーダーの活躍・成長も大変嬉しく感じました。



長野県安全啓発指導者養成講習会

○期日 12月4日(土)
○会場 松本市大手公民館
○内容 講義・演習
長野県子ども会育成連合会主催により安全啓発指導者養成講習会が行なわれました。松本市から城北地区由井理事、田川地区水口理事、新地区波多腰理事、寿台地区河原理事が出席し、修了証が授与されました。



河原理事



波多腰理事



由井理事

受講された理事の皆さん

今年度の主な活動

- 1 全体活動
 - (1) 総会
 - (2) 書面決議
 - (3) 理事会
 - (4) 開催数 3回
 - (5) 会場 なんなんひろば
 - (6) ジュニア・リーダー研修会
 - (7) 開催数 6回
 - (8) 会場 なんなんひろば他
 - (9) ※ジュニア・リーダーが企画し、様々なスキルアップ研修会を実施
 - (10) 青少年に有害な地域環境実態調査
 - (11) 期間 11月1日(月)～20日(土)
 - (12) ※補導委員と合同で調査対象店舗の実態を調査
 - (13) (5) 協賛事業運営参加
 - (14) ①薬物乱用防止啓発運動
 - (15) ②青少年健全育成協調月間啓発運動
 - (16) ③学都松本フォーラム
 - (17) ④市青少年健全育成市民大会・「松本市子どもの権利の日」市民フォーラム
 - (18) ⑤長野県青少年健全育成県民大会
 - (19) (6) 各種大会研修会
 - (20) ①長野県子ども会育成連合会総会
 - (21) ②松本市平和記念式典
- 2 専門部活動
 - (1) 総務部
 - (2) 三者懇談会
 - (3) 期日 9月14日(火)
 - (4) 実施方法 Zoomによるリモート会議
 - (5) テーマ 「新型コロナウイルス感染症情勢下における子どもの生活の現状と課題について」
 - (6) 出席団体 市校長会、市PTA連合会、市子ども会育成連合会
 - (7) ②市子ども会育成連合会だより(第33号)の発行
 - (8) (2) 育成部
 - (9) ①リーダー講習会事前研修会
 - (10) 期日 7月3日(土)
 - (11) 会場 なんなんひろば
 - (12) ※班編成や各班の目標設定を実施
 - (13) ②リーダー講習会
 - (14) 第1回
 - (15) 期日 7月24日(土)
 - (16) 会場 アルプス公園
 - (17) 参加人数 小学年生39名、ジュニア・リーダー14名、育成者(シニア・リーダー含む)他23名 合計76名参加
 - (18) ※危険予知トレーニングや
- 3 松本地方子ども会育成連絡会 他
 - (1) 期日 8月15日(日)
 - (2) ウォークラリーを実施
 - (3) 期日 10月30日(土)
 - (4) 会場 松本市中央体育館
 - (5) 参加人数 小学年生27名、ジュニア・リーダー8名、育成者(シニア・リーダー含む)他14名 合計49名参加
 - (6) ※ダンス、レクレーション、思い出づくりを実施
 - (7) ③リーダー講習会報告会
 - (8) 期日 11月14日(日)
 - (9) 会場 なんなんひろば
 - (10) (3) 安全環境部
 - (11) ①安全講習会
 - (12) 期日 10月2日(土)
 - (13) 会場 なんなんひろば
 - (14) 講師 下笹 玲奈 氏 (子ども会KYT指導者)
 - (15) テーマ 「子ども会KYT(危険予知トレーニング)」を学ぶ

令和3年度役員

- | | |
|-------|---------------|
| 三役 | 会長 臼井 和夫 (第三) |
| 副会長 | 西口恵利子 (庄内) |
| 監事 | 永塚 博 (波田) |
| 計 | 北原 修 (第二) |
| 会 | 百瀬 清子 (入山辺) |
| 事 | 由井三佐子 (城北) |
| 総務部 | 大野 善章 (安曇) |
| 部長 | 篠田 洋一 (里山辺) |
| 副部長 | 三浦 好弘 (岡田) |
| 育成部 | 部長 河原 和彦 (寿台) |
| 部長 | 副部長 山下 治夫 (寿) |
| 安全環境部 | 部長 丸山 祐介 (今井) |
| 副部長 | 久保田 毅 (庄内) |
| 事務局 | 市子ども育成課 |

受賞おめでとう

いざいませ

今年度、長年にわたり子どもたちの健全育成にご尽力された次の方が、表彰を受けられました。

◇松本市子ども会

育成連合会会長表彰

- 小澤 優一 (中山)
- 三浦 好弘 (岡田)

コロナ禍でのリーダー講習会

育成部会

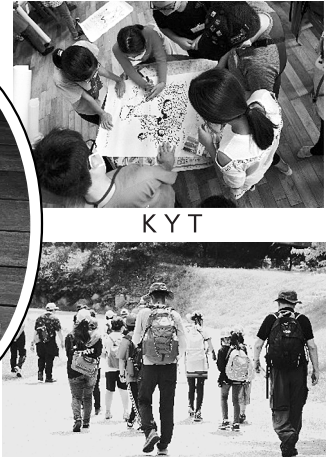
昨年は、コロナ禍での緊急事態宣言中ということもあり、美ヶ原でキャンプを伴うリーダー講習会や育成会の行事はすべて中止となり、大変残念な思いをしました。

今年のリーダー講習会はなんとか実施しようとスタッフ会議を行い、知恵を絞って、日帰り二回のリーダー講習会を計画しました。

コロナ終息の兆しが見えず、関係者皆がやきもきしましたが、幸い落ち着いた状況の中で、第一回目のリーダー講習会の当日を迎えることができました。

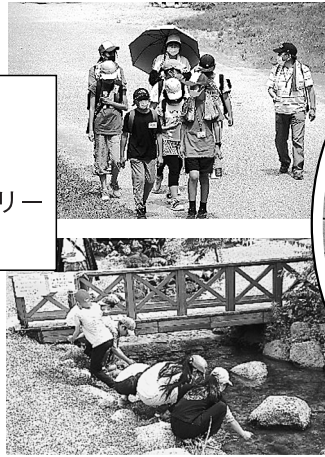
一回目は、7月24日(土)本アルプス公園で実施しました。森の入り口休憩所にてKYTを各班に分かれて行った後、アルプス公園を使ったウォークラリーを行いました。チェックポイントで様々な課題に挑み、ひらがな一文字が書かれたカードをゲットし、最後に森の入り口休憩所に戻り、これら集めたカードを使ってどれだけ多くの言葉を作ることができるかを競争しました。

当日は、晴天で気温も高めで熱中症の心配もありましたが、無事予定を終了することができました。



KYT

言葉づくり



ウォークラリー

- 1回目
- ・KYT
- ・ウォークラリー

二回目は、10月30日(土)本市中央体育館での活動で、ダンス練習、しっぽとり、ジェスチャーゲーム、思い出づくりとして、うちわへの寄せ書きなど、様々な活動を行いました。特にダンス練習では、ジュニア・リーダーが子どもたちに教えることで、自分たち自身も伝え方や教え方を学んでいました。また、しっぽとりでは、狭い体育館の中を縦横無尽一生懸命走り回る子どもたちの姿が見受けられました。



ジェスチャーゲーム



しっぽとり



ダンス練習

- 2回目
- ・ダンス練習
- ・しっぽとり
- ・ジェスチャーゲーム
- ・思い出づくり



思い出づくり

11月14日(日)には、なんなんひろばで活動発表会を行い、各班に分かれて新聞を作成し発表しました。どの班の新聞も写真を活用し、レイアウトなども工夫された力作ぞろいでした。



活動発表会

本来であれば、講習会で得た経験や知識を生かす場としてチビツ子カーニバルで大いに活躍してもらおうのですが、残念ながら今年も実施することが出来ませんでした。

コロナ禍の中、リーダー講習会を実施できたことに、関係者に感謝するとともに、来年も多くの子どもたちに参加していただきたいと思います。

三者懇談会

～新型コロナウイルス感染症情勢下における子どもの生活の現状と課題について～

総務部会

- 期日 9月14日(火)
- 会場 大手事務所
- 実施方法 Zoomによるリモート会議
- 参加団体 市校長会、市PTA連合会、市子ども会育成連合会

本年度の三者懇談会は、新型コロナウイルス対策のため、リモートで実施し、スマホ・SNS等の弊害から子どもを守るための三者連携について話し合いました。はじめに、市校長会から小中学生のスマホ・ゲーム等の利用傾向について説明いただき、スマホの有効利用がみられる反面、生活リズムの乱れや依存傾向、友達関係のトラブル等につながる事例を学びました。

意見交換では、使用方法と危険性について子どもと話し約束事を決める。使用実態を把握しながら、大人が使い方の良い見本となるなどの意見が出されました。

出された主な意見

【市P連から】

- 親からも子どもたちに対してダメな理由をきちんと伝えていくことが大切である。
- 家庭でも、家族内のルールを決め、その際に子どもがルールを破ったときはどうするかまで決めておいたほうがよい。
- 子どもは、親の姿をみて使用するため親のマナーも大事である。

【市校長会から】

- スマホの使用時間について、学年が上がるにつれ長くなっており、それにより、勉強時間減少、睡眠時間減少傾向にある。また、子どもたちも自覚はしている。
- ネット上で様々な人とつながり、会うこともあるというところについても気にかけてほしい。
- 学年が上がるにつれ、家の人との約束がない児童、生徒が増えてくる。本人任せにならないか心配である。
- スマホ、タブレットはなく

【市子連から】

- スマホ等の使い方は、周りの大人がしっかり見守りルールを設定することが大切
- スマホ等なくてもできる活動を大人側が設定し、活動時間を増やしていきたい。

【まとめ】

個人用スマホ、タブレットを子どもが手にするのは、少しでも遅いほうがよく、各家庭では、部屋に持ち込んで使用できるといった環境をやめ、使用させる際は、きちんとルール決めを行うことがよいのではないかと話しました。

スマホも含めメディアとの付き合い方は人とのコミュニケーションの力をはかるとともに、育成会活動も人と人とのつながりです。早く通常の育成会行事ができるようになります。

安全講習会

安全環境部会

～子ども会KYTを学ぶ～

- 期日 10月2日(土)
- 会場 なんなんひろば
- 内容 講義・演習



三者懇談会

者、地区育成者の他、初めて参加する皆様も増えて、裾野は広がっていると感じています。継続は力なりと言いますが、続けていくことが必要と考えます。

重要なことは、KYTを理解し、各地区での行事において、危険回避に役立てることです。役員等を離れた後も、たくさんの方の眼が、地区で子どもたちを見ていてくれることを願います。

昨年、今年と新型コロナウイルスの影響により行事が行えない状況ですが、これもKYTの一つの状態ととらえ、危険回避をしていきたいと思っています。

今年も有意義な講習会ができたと感じています。



安全講習会

本年度も、コロナ禍の中でしたが、松本地方子ども会育成連絡会主催、安全環境部会共催で安全講習会が開催されました。

講師にシニア・リーダーの下笹玲奈さんを招き「子ども会危険予知トレーニングを学ぶ」というテーマのもと、皆でKYTについて学びました。複数回出席している指導